



東 風

横浜市立綱島東小学校

評価の大切さ

学校長 照沼 隆二

令和元年度前期は、10月11日の前期終業式で一区切りとなります。

終業式の日、子ども達に「あゆみ」を渡し、前期の学習や生活の様子を伝えます。

がんばった成果が表れたところ、もう少し努力が必要なところを、子どもと担任が互いにしっかりと確認し合い、後期の学習や指導に生かしていこうと考えています。教師は、子どもに学習内容がどの程度身に付いているかということ把握して、これからの自分の指導法の改善につなげていくということにも取り組んでいます。

昨年度も触れましたが、こうした学習の振り返りは、子ども達の学習にとって、とても価値のある取組と考えます。

担任は「あゆみ」を活用して、子どもの課題やその解決のための方法について助言します。

ご家庭でも、お子さんの長所や課題等についてお話をしていただきながら、子どもの努力をほめて、今後の学習活動への励ましをいただけたらうれしく思います。

学校では、子どもたちは毎日実に様々な活動に取り組んでいます。この「学校だより」の紙面でも、毎月写真等とともにお知らせしています。

学校行事や学年の行事等の他にも日常の係活動や当番活動、各種委員会の活動など「学校だより」や「あゆみ」などに書ききれないくらいの価値ある継続した取組をしています。

子ども達にとっては当たり前のような活動も子どもの成長にとっては大きな意味をもっていると考えます。

そうした活動に熱心に取り組んでいるところを見たらできるだけ声をかけるようにしています。大切な評価だと思います。子ども達の活動に適切な評価を行い、子どもの意欲が高まるように後期も教職員一丸となって指導に当たります。

保護者の皆様、地域の皆様の前期の教育活動へのご支援に感謝申し上げますとともに、後期の学習へのご理解とご協力をお願い申し上げます。